



<定点把握感染症>

疾患名	山形県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第38週	第39週	増減	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)	(45)				(9)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	4																			4164
0.00																				
小児科定点 (定点医療機関数)	(29)				(5)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	230																			131
0.07																				
咽頭結膜熱	541	8	4	▽				1	1					4	3	▼	3		▽	490
0.17	0.28	0.14					0.14	0.14						0.67	0.50		0.38			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1945	30	15	▽	6	3	▼	9	4	▽				14	8	▽	1		▼	3156
0.63	1.03	0.52		1.20	0.60		1.29	0.57						2.33	1.33		0.13			
感染性胃腸炎	5698	65	39	▽	16	15	▽	10	5	▼	8	5	▽	20	9	▽	11	5	▽	2812
1.84	2.24	1.34		3.20	3.00		1.43	0.71		2.67	1.67			3.33	1.50		1.38	0.63		
水痘	375	2	4	△		1	△				1		▽	1		▼		3	△	313
0.12	0.07	0.14			0.20	0.20					0.33			0.17				0.38		
手足口病	383	5	5		1	1		1		▽	1		▼				2	4	▲	70
0.12	0.17	0.17		0.20	0.20		0.14				0.33						0.25	0.50		
伝染性紅斑	38																			231
0.01																				
突発性発しん	1521	25	15	▽	5	1	▽	3	3		1	2	△	8	5	▽	8	4	▽	614
0.49	0.86	0.52		1.00	0.20		0.43	0.43		0.33	0.67			1.33	0.83		1.00	0.50		
ヘルパンギーナ	1081	51	28	▽				3	6	△				48	22	▽				130
0.35	1.76	0.97					0.43	0.86						◎8.00	◎3.67					
流行性耳下腺炎	178																			26
0.06																				
眼科定点 (定点医療機関数)	(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	2																			0
0.00																				
流行性角結膜炎	154	1	3	▲	1		▽		3	△										56
0.23	0.13	0.38		1.00				1.00												
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2																			1
0.00																				
クラミジア肺炎																				1
マイコプラズマ肺炎	29	1		▽	1		▽													30
0.06	0.10			0.50																
細菌性髄膜炎	10																			4
0.02																				
無菌性髄膜炎	7																			0
0.01																				

◎:警報レベル ○:注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					
侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	ワクチン接種歴:不明
結核	1					※第38週追加報告分。

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱			3	1											4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2		1	4	1	2	1	1		3			15
感染性胃腸炎		6	6	6	2	1	1	1	5	2	1	5	3		39
水痘				1	1		1			1					4
手足口病			3	1		1									5
伝染性紅斑															0
突発性発しん		4	11												15
ヘルパンギーナ			7	7	5	5	3			1					28
流行性耳下腺炎															0

< 令和2年8月 月報 >

2020年9月24日 発行

疾患名		山形県		山形市 保健所		村山 保健所		最上 保健所		置賜 保健所		庄内 保健所		累積 (県) 1～8月
		7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	
STD 定点	(定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	13	17	9	4	2			1	1	5	1	7	122
	定点当り	1.30	1.70	3.00	1.33	2.00			1.00	0.50	2.50	0.33	2.33	
性器ヘルペスウイルス 感染症	報告数	5	3				1			4	1	1	1	49
	定点当り	0.50	0.30				1.00			2.00	0.50	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	1										1		11
	定点当り	0.10										0.33		
淋菌感染症	報告数	2	3							1	1	1	2	21
	定点当り	0.20	0.30							0.50	0.50	0.33	0.67	
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症	報告数	3		3										36
	定点当り	0.30		1.50										
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	17	17		2	5	2	1		2	1	9	12	150
	定点当り	1.70	1.70		1.00	2.50	1.00	1.00		1.00	0.50	3.00	4.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1								1				2
	定点当り	0.10								0.50				

<トピックス>

ヘルパンギーナ 情報

ヘルパンギーナの定点当たり報告数が、置賜地区で2週連続警報レベルとなっています。

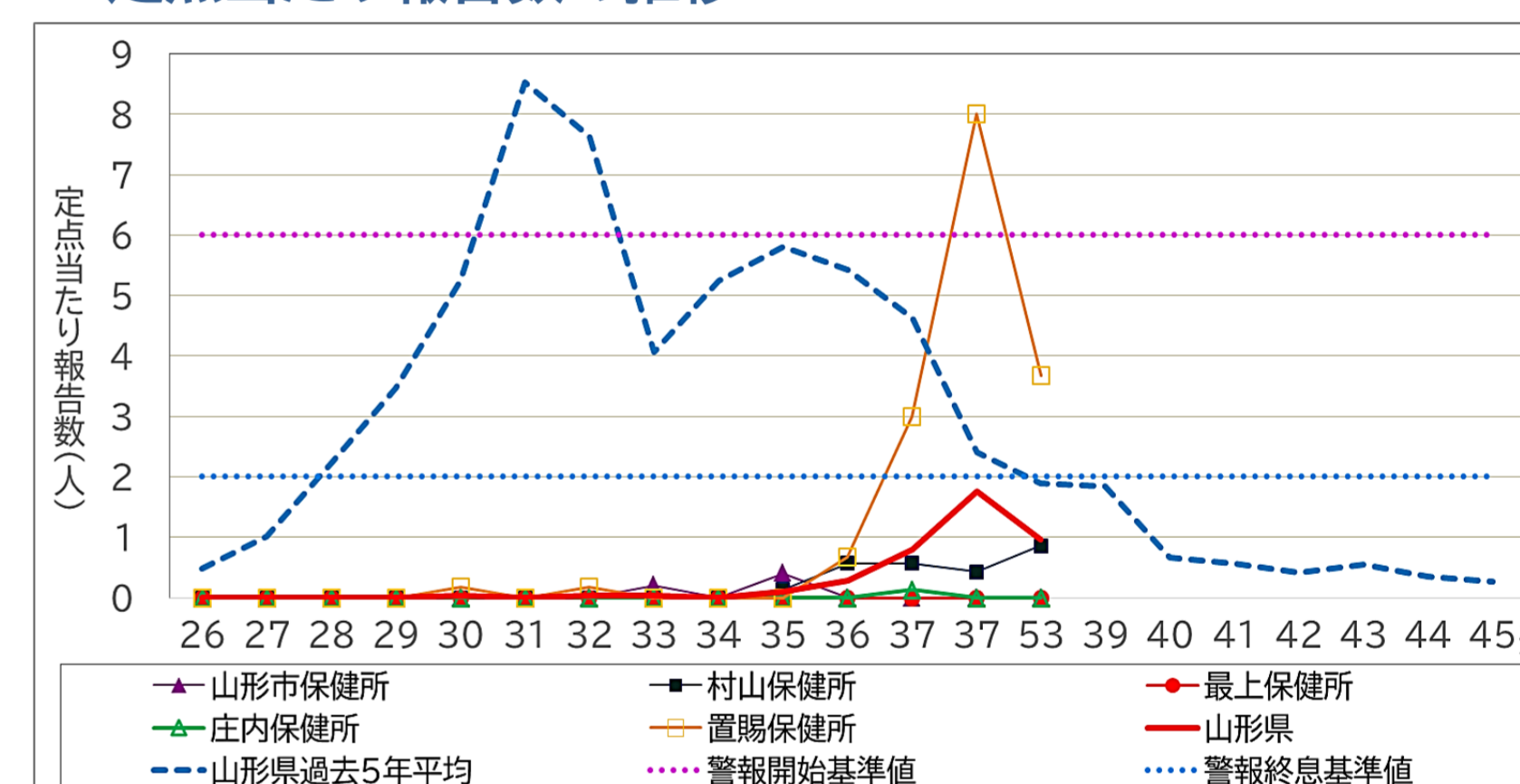
・第39週 定点当たり報告数 (山形県:0.97人)
 山形市保健所:0人、村山保健所:0.86人、最上保健所:0人
 置賜保健所:3.67人、庄内保健所:0人
 ※警報開始基準値:6 警報終息基準値:2

<ヘルパンギーナとは>

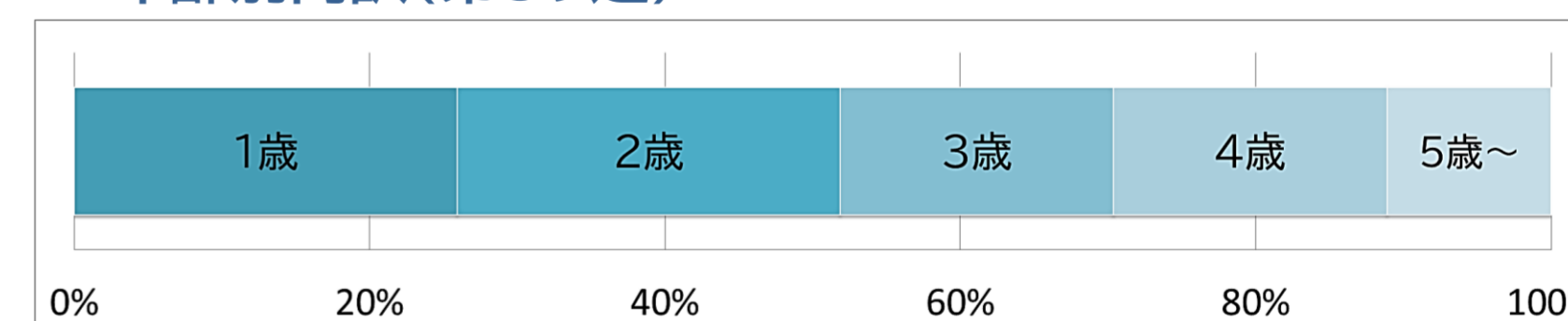
エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA群など)による感染症で、幼児を中心に夏に流行します。

突然の高熱で発症し、続いてのどの痛み、のどの奥に水疱が現れます。のどの奥の水疱は、やがて破れて痛みを伴います。

<定点当たり報告数の推移>



<年齢別内訳(第39週)>



予防のために、手洗い・うがいを徹底しましょう。
 ヘルパンギーナは回復後も便中に2～4週間にわたり、ウイルスが排泄されます。おむつ交換やトイレの後には、特に入念に手を洗いましょう。

